第三種郵便物認可

夕刊

八月三十日發行

[illegible]

振替東京一八〇五六五番

閼伽井嶽夜記（上）

平市西部青年團修養部員

岡まさこ

八月廿四日午後一時集合全二時出發、往復徒歩とおよそ一ヶ月前に計畫されたいよ〳〵今日其當日なのだ、我が分團よりも二名選團參加さる事に成つた、西部青年初の體育及び修養の二部合同主催の催しなのだ。天氣は申分ない。眞蒼に澄んだ初秋の空はあくまで深い、集合地平第二小學校に來て見れば既に引率者の松本、高畑兩幹事を筆頭に元氣な團員諸君が見えて居る。團員五十名に對し參加者[illegible]い限りで[illegible]團員の熱意[illegible]るを得な。實に松本、高畑兩幹事並びにお見送り下された大谷團長に對しお氣の毒に思つた。

しかし、人員は少くも其の實行力に於ては遙かに熱意ある諸君と同道出來得る自分達は本當に心から晴〳〵とした氣持で足も輕やかに懇篤なる團員の群に送られて赤井に依り登山の一步を踏み出したのである。途中一人の落伍者とてなく水筒の水もすつかり空にして拜殿に到着したのは五時に垂々として居た頃だ、一同汗と塵にまみれた顔を紅潮させて御嶽の頂上を極めた歡喜に有頂天だ、誰だつたか、盛んに鐘を撞して居た團員が僕が一番乘りだと威張つて居る、自分は他の人と比較し體力がない事は知つて居たが頂上を極めた喜びと安堵の念で疲勞を覺え、ぐつたりとしまつた。でも規律正しい青年團は直ちに整列宮城遙拜、御社參拜と形の如く濟まし、御堂脇の宿舍に入つた。

小憩後、二班に別れ一班は炊事、二班は境內清掃並びに水汲みに從事し、自分等は高畑幹事引率のもとに境內清掃と枯木の搬に變へた、そし境內の裏山へ入つて行つた、杉の大木、雜木と餘り手の入らない木々が伸び放題に伸び居る、谷から上げて來る霧に濡りの草は美しく雫を止め、杉の木肌はしつとりと濡れてゐる。

8月31日

△伊土トリポリ[illegible]戰（一、九一二）△橘中佐壯烈の戰死（明治三七）

[illegible]

○

私は今夜死んでも手袋一つ取散らしてゐないと感じつゝ臥床に入ることを好む

ホイットワイルド

潮來

阿部恭子

○このわたり女子供も棹さしてあやつる舟のあぶなげもなし

○あなた向く牛いつまでもそのまゝに水郷の日暮もののおだしさ

○閘門を過ぐれば西に大利根の水となりつゝ高し水面

○川水を田に引くならし人居らぬ舟の機械の獨り動きつゝ

○あやめ賣初める人さきくからに潮來みやげの根こじのあやめ

講談

夜嵐（よあらし）お絹（きぬ）

〔169〕

悟道軒圓玉

筒井政衛畫

河原崎權之助

璃鶴は心安からず、それからそれへと何も想を走らせて

定め、俺との關係をも御役人に云つたであらう、又おきぬが云はぬとも其筋で調べる、是は頗る危險と[illegible]いたが、逃げれば一層嫌疑を深める、何うなるものか、あんな女と關係したが俺の不運、先づ成行に任せる事にしやうと斯決心し[illegible]後に數十萬圓の資產を作つた俳優中の頭の宜[illegible]し、前途がよく見える。

此の當時璃鶴は猿若町二丁目の守田座に出勤して[illegible]た、此の守田座は後の新富座、太夫元は守田勘彌で劇場界の王様、守田座[illegible]頭は河原崎權之助、今で[illegible]と大幹部、現代で[illegible]座頭と云つて、お[illegible]い方には劍[illegible]ない、[illegible]て[illegible]が劇[illegible]關[illegible]しい事が出たが、それにある座頭（ざがしら）と讀む字を見、或る新しい方が時の劇には按摩がおるかと訊いた、老生は此意外な質問に吃驚した、何で其樣なことを聞くかと尋ねると其人の言ふ事が面白[illegible]れにも茲にざとう（座頭）と書てある。斯う云つたさ。が。し。ら。をざと讀む、ざ。と。う。だから按摩と解釋し、此の先生學校で習[illegible]學問を愛用して質問[illegible]然しこれは無理はな[illegible]若い方は知らぬが當然です、明治二十年頃までは大幹部の一人者を座頭（ざがしら）と云つた、此時の座頭は前にも申した通り河原崎權之助、後の九代目市川團十郎、七代目團十郎の五男で先代河原崎權之助の許へ養子に行き、それで河原崎を名乘る、此人の實兄八代目團十郎は安政元年八月六日大阪

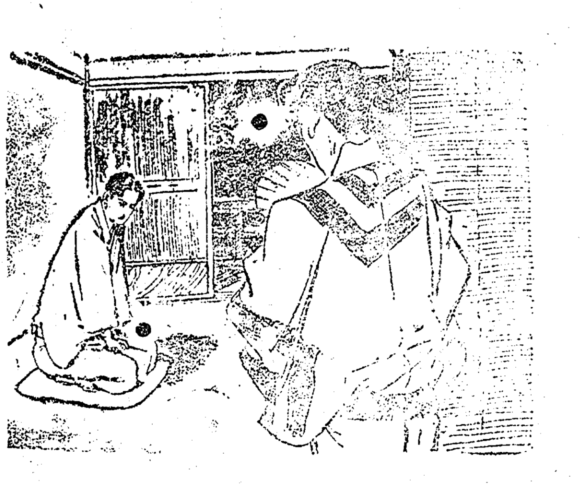
於て自殺し、世を去つた、又養、河原崎權之助は俳優として舞台に立つ、參はない、これは太夫元、今で申すと興行主、頗る嚴格な性格であるが、興行にかけては凄い手腕の持主、金主、今で云ふ出資者に一錢の損はさせぬ、それですから資金も潤澤です、昔の諺にも拾る[illegible]金からば芝居の金主にな[illegible]れとある、金主が劇場に是を入いさと、ソレ金主様が紛然來なすツたと呼の如

[illegible]りまする」

と答へた、果し、親より俳優になりました、權之助は維新の際に今度の住居に於て賊の爲め横死した、此加害者は今以て不明、後河原崎權之助となつたが後の九代目團十郎

さて璃鶴とおきぬの爲が開いて權之助が芝居が終つて後に今度の住居に呼び寄せた、此の時の劇は鑑山噺と云ふ大名題で權之助が赤堀水右衛門、これは敵役です、璃鶴が石井兵助、本來を使用つて、阿部川の返り討ちの場面が此の劇の最も高潮し、場面、璃鶴の石井兵助が大好評

「旦那、璃鶴さん、參りま



尊敬する金主はこれで目が[illegible]た」

惑暗みフラ〳〵と大金を[illegible]る、所が河原崎權之助は前にも申した通り出資者に損失をかけた事がない、又芝居道で魔王と云はれた七代目團十郎の伜を養子にしたは、此の魔王を結托して努力を得る爲、又七代目も此の大策子の權之助と握手すれば利益もある、其れで伜を養子とし權之助の許へ送つた、所で權之助は此の養子、後の九代目團十郎ですが、その教育が嚴しいことそれを強いて七代目が

「子供だから少しは遊ばしても宜からう、そんなに嚴しく躾事を教へては癖が[illegible]つま」

[illegible]云つた時、權之助が、[illegible]

「來たか、川向き、離室へ通せ」

「此方へお出でなさいまし」

弟子が案內したは川に枕した離れ座敷、[illegible]で細張の行燈、長手の煙草盆が出てゐる、[illegible]が派手な浴衣を着、水團扇で紋を追ひながら入つて來たは權之助

「よく來たナ」

「へエ、お迎へでございまして」

「少し訊く事がある」

「何う云ふ御用でございますか」

「オイ豊島屋、今度はとんだ女に掛り合つたナ」

と言つた

開業

内臓外科
整形外科

平市大町二番地

內木外科醫院

（入院隨時）

醫學博士　內木宗八

内臓外科
整形外科
レントゲン科

松村外科

醫學博士　松村亨

平市南町　松村醫院外科部

小兒科・內科

酒井醫院

入院隨時

平市南町（電五五番）

醫學博士　酒井保

或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日四日も便通がなくて頭痛を覺ゆる御方はキヽメの早い

靈効散
胃腸藥

を御試し下さい

胃腸病。心臓病。腦。痔。適應藥

三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。

平市古鍛冶町縣社ノ下

處方發賣所　阿康藥局

電話四四番

振替口座東京三〇〇六五番

定價（五十錢　壹回　八日分　廿日分）

御子様方には飲み易い小兒靈効散があります。

精神病科
腦脊髓病科
神經病科

內務省指定

福島縣立代用精神病院

郡山腦病院

郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁

郡山市外大槻村針生

電話九二五番

院長　醫學士　金森五郎

入院隨時

▼男女車掌募集

平市四丁目

鈴木自動車部

電話二一七番

男女車掌募集　數名

年齢16……19

未經驗者ニテモ可

給料其他委細面談

平市驛前

野崎交通自動車株式會社

電三四〇・三四三

酒

乙な肴で

おなじみ味館

平三田小路

音が生命

ビクターラヂオ

5R15　¥125

テレビアン
ナショナル
ビクター

代理店

富永ラヂオ店

〔電四九六〕

中等學校制服……大特價

高島屋の洋服

男女學生服新入荷

並ニ注文既製品

高島屋

平市二丁目

電話三八六番

耳鼻咽喉科專門

醫學士　鈴木正男

平市田町（電話六一三番）磐田女學校前

「入院の御需めに應ず」
（看護婦及び見習看護婦募集）

齒科口腔外科

日本齒科醫學士　鈴木[illegible]政

內郷村高坂磐炭病院前

鈴木醫院

御婚禮御着附

パーマネント　ウエーブ

洋和結髪　オゾン美顔術

御婚禮のかつらを御利用下さい

御染髪洗毛

美爪術

電話　六七八營業所　五二五自宅

平市驛前

水野化粧院

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品

平市田町銀座街

東邦タイプライター代理店
東邦タイプスピード養成所

藤森

電話三七〇〇
振替仙臺五一番

〔藤森事務用器商會〕

吸入用酸素
純度99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

計量器

體溫器
寒暖計

秤ノ取締
販賣・修繕
致シマス。

關內藥局

電話四〇番

西村屋藥局

電話三番です

藥品百貨と
寫眞機材料の店です

平市本町二丁目

西村屋藥局

和洋結髪
パーマネント・ウエーブ

夏向の髪姿數種を研究致して參りました。何卒愛顧の程を御願致します

（徒弟入用）

手塚美容院

平市新田町

お互心を引き締めて 新發足の明後九月一日

市內に時局色遍滿！

明後九月一日は震災記念日にして興亞奉公日、而して農家の最大厄日たる二百十日に當るので、殊に颱風の襲來？の豫想が行はれてる折柄、人々の緊張は自ら一入深刻なるものある處へ『時局下の國民生活から享樂を削減せよ――』と云ふ程發表された本縣の『風俗營業者、交通事業者等國民奢侈生活抑制取締り要領』も亦之の日から實施され、風俗營業者の時間やそれらに於ける酒ビールの消費量の制限に非常時下の自肅体制が强調されるので、之種關係營業者の集團地たる平市は勿論、炭礦漁業地帶から僻遠の農山村などに至る迄當日に於ける地方一圓は今迄にもまして力强い眞劍振りを深はし爾後その氣分で時局に善處する新發足の日とする態勢に置かれてゐる

野菜一齊値下り

新体制に即應すべく きのふ自肅値決る

平果菜商業組合では昨報の如く時局下新經濟体制に即應すべく昨二十九日臨時總會を開いた結果自肅販賣價格協定委員會を設け七名の指導員により今後組合員が自肅の同一歩調をとることゝし、平署經濟係りの指導で取敢へず九、十月の『自肅賣値』を左の如く決定したが蔬菜果實と比較的長期貯藏に耐ゐる品及び出荷少なく高値を豫想される品はセリ賣りをせず相對賣を實行すると（何れも百匁當り但し一貫匁賣りは五分引きとする）

△蔬菜の部

馬芋四錢　玉葱六、里芋六、胡瓜五、茄子四、丸茄子四、南瓜四、トマト七、大根（葉五寸）三、人參（莖一寸）五、牛蒡六、葱五、ズイキ二、キヤベツ六、フダン草三、隠元豆七、薬生姜一、根生姜二〇、枝豆五、間引菜四、ホーレン草八、レンコン一二

△果實の部

リンゴ二五、梨上一五、同下一〇、桃上一五、同中一二、同下一〇、イチジク一個五、西瓜一貫匁六〇、バナ、百匁二〇

家屋申告 明卅一日限り

該當者義務を怠るな

既報明後十七年度から國税として徵收さるゝ家屋税の調査資料をなす家屋申告書は愈よ明三十一日限り所轄の平税務署へ提出せねばならぬので該當者は申告期限を誤らぬ様注意を要するが右は七月一日現在により配付されゝ用紙（屋敷毎別紙）に數個の家屋を住家、店舗、事務所、工場、倉庫、納屋、厩と云ふ様に具体的に床面積（坪數）を書くことになつてゐる（床板を張らぬ土間亦同し）外尙は參考事項としてイ建物建築の經過年數、ロ登記年月日、登記番號、ハ七月一日現在の賃貸價格月額、ニ敷金權利金、ホ修繕費維持費負擔關係を書くことで不明の點は市町村役場、税務署に就て承合され度いと

時局の重大性を思へ

產業戰線の勇士に望む

於入山自治會館　**橋本知事講演**　要領

（下）

世界歷史は今や必然的轉換をなさんとしつゝある。政治、經濟、社會思想のあらゆる部門に於て舊套より新らしきへと目まぐるしい移行を見せて國民理念の程度は極めて多角的に深まりつゝある。

今回の聲明は要するに斯る國情を前提として如何にして國家の大きな力をつくるか、時局をより正しく認識し國家を背負つて立つ爲め、國家の生活を自分の生活に結び附け、各自は夫々の職分に向つてひたむきに夫々の分野に於て滅私奉公の誠を致さんとする大願望に外ならない。國家即ち自分！この國家と自分を不可分的關係に置く誇負と信念が時局に處する吾人として最も緊要な心構へである。第一次歐洲大戰當時佛蘭西の一少年は『ガソリンの一滴は血の一滴』と道破して戰時下物資の重要性と物資愛護の必要なる所以を全銃後國民に向つて深刻に警醒した。

常磐山に於ける產業實況の緊々振り、額に汗する一人々々寸分弛みなき眞摯な生產の營みを拜見し今日の石炭が我が銃後生產擴充の重大部門として軍事上物資動員の上に如何に重大なる地位に在り　而してよく其の使命を果しつゝあるかを最もはつきり看取することが出來る。燃料國策物資動員の大局から觀る諸君の生產する石炭の一塊は直に肉の一塊である　諸君がいま從はれ居る汗と膏の勞作こそ國家生活の上に緊切一日も廢すべからざる世にも尊い仕事であつて諸君はその揮はれるハンマーを通じ國家に貢獻すると云ふ高い尊い信念の裡に終始一貫雄々しくも健鬪を續けらるべきである。

現下の情勢から食糧をはじめ當面の必要な諸資材及び人的資源その他の充足に對する御困難は此際須々お察しする。餘りあるが尙ほ本年度の生產能率に於て一段の飛躍的增產が劃策され着々實現途上にあるを聞くに至つては吾人として時節柄其間血の躍る底の力強さを感ぜざるを得ない。諸君たるもの須らく曠古の時局重大を充分把握、燃るが如き責任感から國家當面の大事に奉仕し、尊い大々な任務の遂行に邁進すべきである。歐洲戰爭の波及、日支事變の結末は政治、經濟、思想等々國內的に色々影響を及ぼして來るでせう。

自分は曾て中央に於て思想方面の仕事に從事し、過去に於ける共產黨の歷史、其の國家的の大事件に就てはその全貌を悉知するものであるが、彼の人々俱に赦さざる其らの行動は何れも國家に對する無責任、國体に對する無責任にその端を發せざるはない。

如何なる困難に遭遇するも皇國悠久三千年、萬邦無比なる我が國体の精華と世界、儔ひなき大和民族の優秀性に絕對の信賴を持つならば前途の難關突破、蓋し容易なことである。充分なる覺悟を以て向來の御奮鬪を望む。

產業戰線戰士の御自愛をお祈りする（文責在記者）

三大炭礦水上競技

今年は古河棄權

仙台鑛山監督局主催にかゝる三大炭礦水上選手權大會は例年九月上旬を期して行ひ、炭礦ファンの血を湧かして居り今年も愈よその季に入つたので目下當番鑛入山を中心に計畫中であるが古河が都合上棄權することに決つたので擧行するとしても磐城、入山西礦だけとならう

三井氏寄附

刑事協會へ三千圓

工業學校建設費の外各方面に多額の寄附を續けてゐる市出身東京在住三井榮一氏は更に金三千圓を刑事協會平支部に寄附した

（寫眞は三井氏）

犬は人より大食

節米時代の矛盾事 當局でも何とか考慮か

世を擧げて節米が高唱され二合七勺の標準を堅持して混食代用食さへ勸行されてゐる昨今、消費量侮り難き畜犬に就ては古來一匹一升扶持と云はれる丈け其の影響が頗る大きなものとし平市その他地方でも寄々識者の注意を喚起して來たが右は畜犬飼育者としても大に考慮すべきであると同時に當局として從來行つて來た野犬整理の範圍を一段擴張するでは無いかと觀らるゝ節あり、彼等當分暑さが遠のき皮の採取に適當な季節に入ると共に飼育は軍用犬の養成或は必要な畜犬程度の最小限に止め節米時代に即應すべき底の考慮が行はれるものと豫想される

近づく一般軟式庭球

平署コートもハリ切る

石城軟球協會主催の市郡下一般軟式庭球大會は來月下旬磐中コートで擧行されるので磐中、平商兩校をはじめ出場選手連は早くも必勝を期して猛練習中で平署でも幾組かを出場せしむべく過般來毎夕退勤後練習試合にハリ切つてゐる

傷害致死の公判

既報、夫婦喧嘩をして妻アキさん（三七）を死に至らしめた市內仲田町青物商佐藤唯一（四七）にかゝる傷害致死事件の公判は二十九日平支部で菅間裁判長立川檢事立會安藤、松野尾兩辯護士列席開廷したが事實訊問を行つたゞけで閉廷來月十日再開證人喚問をする

野宿して水路を踏査

昨日の鮫川堰水利工事竣功式上

創業者故桐原郡長其他の追憶甦る

植田町外一町四ヶ村七百町步灌漑の水たる鮫川堰竣功式は既報の如く昨二十九日午前十一時から植田小學校講堂に於て橋本知事石田耕地課長以下三百名列席、堰の管理者たる塩谷地方課長司會の下に行はれ、知事の式辭、古川常設委員その他の祝辭挨拶等に移られ、該事業に關する苦鬪の歷史に交々滿堂の感激的情懷を唆り茲に最初の鍬入れ以來前後四十二年、工費八十八萬五千圓を投じた大事業最後の終止符が打たれたが今日の完成に築き上ぐるに就て血みどろな努力を拂つた關係者中には最初の創案者たる當時の石城郡長桐原彥吉氏をはじめ、最初から水利組合議員として終生之に携はつた玉川村の箱崎伊勢松氏その他飯塚、岡山（以上小名濱町）鷺（植田町）の各議員及び初期の事務擔當者たりし山崎喜正氏など今は故人となつた關係功勞者も少からず右の內桐原故郡長の如きは當時野宿して水路の基本調査に從事したなど全く人知れぬ苦辛を重ねた人であり此らは今日の大成に寄苔白隧の下に靜かに莞爾たるものがあらうと昨式上に於ける古川常設委員の挨拶その他先人の苦鬪を知る人の間に無量の感慨が新にされた

石炭詐欺から余罪

狐を種に三千余圓

平署の追究愈よ峻烈

平署の石炭詐欺狩りは愈よ峻烈を極め、次々と驅り出す[illegible]に今更ながら關係者を呆然たらしめてゐるが、次々その追究によつて化の皮が剝がされた『狐詐欺』の餘罪――

山形縣東置賜郡和田村下和田一、八〇八生れ東京市下谷區下谷坂八竹風莊內白石白司（三六）は樺太で養狐業をしてゐたが失敗して賣炭業へ轉向、今回の一齊捜査で菊池部長刑事取調べにより今年四月東京市麻布區甲笄町佐々木高守に石炭を送るから千二百餘圓を詐取した外次々狐詐欺が判つたもの

△樺太大泊郡千歳村佐藤喜幾から狐を賣つてやると約を二三頭預りその賣上代二千餘圓詐取

△安積郡三和村富岡齊藤四郎から同樣狐を賣つてやるとあづかつた十二頭分千餘圓

△山形縣西置賜郡蠶桑村山口植木右內からは同じく千餘圓

手銀狐皮三枚分三百餘圓を着服

（五四）については丹治副司法主任、野地刑事が追究の結果今年三月自分が經營してゐる双葉郡大野村の玉山炭礦を共同所有にするからと東京市蒲田區女塚町志賀米平外一名から三千三百圓をせしめてそのまゝとし七月に入つて五千餘圓をよこした東京市牛込區小川町茅根正勝と組んで共同經營してゐることが判つ

國調事務打合

江名、小名濱、豐間、玉川、鹿島の三町二ヶ村國勢調査事務打合會は來月三日午前九時から小名濱小學校に開く

少年の赤誠

內郷村入山炭礦川平坑高橋忠助さん二男同村小學校高等二年生忠次郎君（一六）は暑休中同坑で働いた勞銀三圓を『生れて初めてとつた金、無駄には出來ぬ』とそつくり獻金した、なほ同君の祖母よしさんも昨年末貯への銅貨五圓を獻金したことがある

電話讓り度し

但し仲介はお斷り

姓名在社

植高の罪狀

三千圓を詐取

市內長橋町三〇植高民四郎

自動車ポンプ購入

湯本警防團で

湯本町警防團は[illegible]んど入山、磐炭小名濱礦、品川白井其他一[illegible]から萬六千餘圓寄附[illegible]て自動車ポンプ一臺を購入することゝなつたが同町天王崎區會議員長目隆義氏妻女ノブヨさん[illegible]を開き二十八日同區長渡邊作氏方を訪れ着物を買ふべく主人から貰つた金二十圓をそつくり寄附した

好間警防分團長會議

好間村警防團では分團長會議を此程開き左記諸件を可決

一、防諜二、團員綿栽培による自給自足三、本年度千草集荷

贈國分君

珠雲　小野務平

精勵恪勤稀匹倫
榮轉隨處德聲新
公餘綽々間天地
儒雅風流翰墨親

平市慶弔錄

△出生　南町二七深見米吉氏四男長英君、鍛田町三三坂井茂氏四女文江さん、才槌小路二四松野尾繁雄氏長女みどりさん、櫻町三一小出榮太郎氏二女禮子さん

▲死亡　才槌小路一二佐藤利子さん（四）

拈華微笑

□

震災記念の興亞奉公日に縣民享樂生活削減、意義更に深重

□

加之に二百十日に當ると來ては、の啓示に何人か自肅を誓はざるものぞ

□

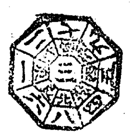
二合宛の梯子酒なんて斷じて許容出來ぬ

□

往年苦鬪の先人も泉下に莞爾たるもなあらん。昨日鮫川堰竣功式滯りなく相濟む

□

朝顏の花、目に見ゑて小さくなつて行く



舊七月二十八日
土曜　丙午　佛滅　胃宿
新八月三十一日

▲一白　思案せず進むが宜し願望次第に成就すべし▲二黑　急げば遲れ何事も直前すれば目先きくらむ▲三碧　しばらくの辛抱さへあれば後は吉日となるべし▲四綠　わき目も振らず働きて不足は言ふまじきこと▲五黃　悦びは束の間暗うん後より襲ひ來るべし注意▲六白　得るところ少くとも妄りに逆出すべからず▲七赤　進んで得るなく退ても亦た損すること多し▲八白　既往の放資が今日にたゝりて苦みなやみある日▲九紫　運氣堅實となり事業も益々發展し行くべし

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩　東の風曇時々晴驟雨模樣
明日　北東から南西の風晴

三十一日　【小名濱測候所觀測】
滿潮　前一、四五　後三、五〇
干潮　前九、〇五　後九、二〇

おでん
たつた揚
やきとり
一平

酒トマツイ
おでんの
榮ちやん
平市田町花ノ里
電話三三番

田毎の
おしること
おぞうに
中田町電632

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

味自まん
米屋の最中
最中屋が此の度び御茶受御土産として
味自まん　どらやき
風味　御土産　二色羊羹
を始めました、どうぞ最中と同樣御贔負願ひます。
平驛前通り
米屋最中店

食事。
喫茶。
酒場を兼ねた
レストラン
サロン
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より
閉店…午後十一時限り
平市銀座街
電話五九二

重田眼科
眼科專門
眼鏡檢定
平驛前
重田醫院

醫學士　吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番